

大阪府立精神医療センター

住所	枚方市宮之阪 3-16-21	電話	072-847-3261
病床数	470 床	病棟数	11 病棟

人権センターニュース No. 93 より
療養環境サポーター活動報告

平成 21 年 9 月 9 日訪問

◆病院全体◆

独立行政法人となり、外来や病棟の壁紙等が改装。病棟ごとに機能の違いがあり、その為病棟の雰囲気の違いも大きかった。

【隔離室】処遇が「終日隔離、昼間数時間デイルーム開放、朝 9 時～夕方開扉、寝る時だけ鍵」の 4 段階。現状が分かるように各扉に掲示。

【外出】閉鎖病棟は午前 10 時～夕食時、開放病棟は午前 8 時～夕食時。

【エアコン】原則 8:00～21:00、熱帯夜は 1 日運転

【人権委員会】委員会は開催されている。

【鍵付きロッカー】病室内やデイルームに設置、または床頭台もない患者等、様々。使用料は無料。

【食事の選択メニュー】週 2 回。

【入浴】週 3 回。

【洗濯】各病棟に洗濯機有。乾燥機がある病棟も有。使用料無料。病院に依頼の場合 130 円/日。

【面会】面会室：病棟内に有。敷地内や病棟内のベンチ等でも面会可。面会時間：10:00～夕食時。

【携帯電話】入院時に持込できない。

【院内売店】ある。

【薬の渡し方】デイルームで渡す。自己管理者は 1 日分を管理。2-2 は窓口で渡し窓口で飲む。

◆改善されていた点◆

◎ 薬の渡し方は、手渡しが広がっていた。

◎ 前回訪問時(平成 18 年 3 月)、温度調整ができなかったが配管が掃除され調節可能になった。外風が吹込む点はエアコンの増設で対応。

◎ 前回の訪問時にはなかったベッド周りのカーテンが設置された病棟があった。カーテンがない病棟の一部で移動式スクリーンを使用。

◆1病棟1階(閉鎖・女性)◆

37 名/50 床で前回訪問時より人口密度が低くなった。市長同意入院が多く、約半分の患者は面会者がいない。在院期間が 40 年の患者がいる。トイレは洋式を 2 個新たに設置。残り 2 個は和式。

【隔離室】

旧来の 8 室はトイレの仕切り無。奥の棚には同じ患者の荷物の置き場所が複数箇所あり雑然とした印象。昭和 40 年築の建物の為「窓のたてつけが悪く、夜、風が吹くと窓際のカーテンが揺れるのも何とかして欲しい」と退院患者からの声も有。「ナースコールの返事が呼んでない他の患者にも聞こえる事もある」との声も有。平成 10 年に病室ゾーンの 6 人部屋 1 室を隔離室 3 室として改装。

患者の声

「『3 週間程ここで療養しますか』と言われたが(3 週間を過ぎても説明もなく)今も入院中」「先生は面談希望日以外も部屋に来て様子をみてくれるので安心」「38 年入院。病棟に移ると男性の先生に変わる。心配」「看護師は声かけなど丁寧」「親はこの病棟に来るのが嫌な為本館で面会をする」

◆1病棟2階(閉鎖・男性)◆

詰所から離れた所に意見箱が有。テレビはチャンネル争いが激しい為 3 台有。喫煙室にイスがなく地べたに座り込んでタバコを吸う患者がいた。ジュース等、冷やしたいものは詰所の冷蔵庫に預ける。病室にカーテンが無。8人と6人部屋が有。

【隔離室】

旧来の 8 室は隅に仕切りのない和式トイレ、双方向性の音声モニターが有。向いの隔離室とガラス越しにお互いの顔が見える。病室を改装した 3 床には窓の内側にカーテンがあり、中が見えない。

【トイレ】

入口ドアには透明の窓があり、中が見えた。洋式 2 個、和式 2 個、小 4 個。壊れた鍵がついたままのところもあるが、全ての個室で鍵はかかる。

患者の声

「診察は週 1 回。入浴は 5~6 人で入る」「トイレで立上りにくい、ウォシュレット欲しい」「薬の内容説明は聞いた事がない」「退院したい。1ヶ月前入院。診察はない。退院の具体的な話はない」「食事はおいしい。看護師はよく話を聞いてくれる」「たまにグループで売店へ行く。自由に外出したい」

◆2病棟2階(閉鎖・女性)◆

長期入院の患者が多い。面会も年数回の患者が多い。薬の自己管理は 3 名。病室にはカーテンは無い。隔離室の他に個室が 2 室あり、ナースコールはないが 30 分に 1 回は見回りをする。

患者の声

「散歩は SST で」「週 2 回売店に行く」「OT は楽しい」「病棟は落ち着かない場所である」

◆5病棟1階(開放・女性)◆

6 人部屋に 4~6 人。掲示板に患者の権利宣言や作業奨励金の単価が掲示。

【隔離室】

2 室は詰所から離れていた。板張りの壁、集音マイクが設置。ポータブルトイレが有。仕切りは無いが外から患者の頭だけが見える位置にある。

患者の声

「外に洗濯物を干せないなので乾燥機が欲しい」「退院後の生活が不安。退院したら仲間同士で話ができる場がないか」「10 年入院している。」

◆7病棟2階(思春期病棟 閉鎖・男女)◆

在院期間は短い。学習室・談話室・デイルーム有。47 床を 29 床に変える工事が今年 1 月に終了。

隔離室(3 室)は前室の部屋、抑制可能な部屋、抑制できない部屋だった。和式便器のため、要望があれば洋式ポータブルトイレを乗せる。

患者の声

「学習室に週 2 回外の講師(阪大大学院心理講師)が来て、皆の話を聞いてくれる」「1 人で自由に院外へ買物に行きたい」「なんでここにいるのかな。病気じゃないのに。閉じこもりたいたいだけ」「自分と似た気持ちの人と話ができているのが楽しみ」

◆8病棟1階(準開放・男性)◆

日中は病棟入口の鍵を開けているが、8 時間以上の開放はしていない。電話は詰所ガラス越しにあるがガラスは掲示物が沢山あり電話中の姿は見えない。意見箱があつたが意見を書く用紙は無い。隔離室にも病室にも壁の落書きが目立った。

【隔離室】

2室。外から施錠できる個室も有。職員によると迷惑行為、水中毒、長期入院の患者が使用する事が多い。廊下・屋外側に透明の窓が有。

【病室】

6人部屋でカーテンはない。廊下側の窓にも目隠しをする為に部分的に白いスプレーがかけられていた。ただ、170センチぐらいから上は透明ガラスのまま背の高い人には病室内は丸見え。

患者の声

「同伴者がいれば外出できる。売店では小遣い票で買う。医師はあまり話を聞いてくれへん。看護師は聞いてくれる。風呂は狭く3、4人が限度。第2水曜は散髪に来てくれる。荷物がなくなって困る。詰所が対応してくれて戻って来た」「担当ワーカーの名前は知っている」「職員の対応はたまに悪い時があって患者に八つ当たりする職員もいる」

◆積極的な取り組みなど◆

【療養環境サポーターの受け入れ】

病院の経営者会議がある中、訪問を快く引受けて頂いた。本活動の位置付けを認識されており、訪問者への同行もなく話もしやすかった。

【地域医療連携室・OTプログラム】

PSW室と地域医療連携室があり退院促進や訪問看護に繋がっている。OTプログラムも多様。

【わかりやすい表示やソフトな雰囲気】7病棟2階

4人部屋に間仕切り家具を入れ、床にテープを張り、誰のゾーンかを分かりやすくした。他人の空間には入り込まないとのルールが徹底されていた。患者から「デイルームに職員の顔写真が貼ってあるのでわかりやすい」とのことだった。

【感情を落ち着かせる工夫】7病棟2階

個室では「ただいま、クールダウン中。おちついたら出ます」との厚紙を自分で部屋の入口のメッセージボードに出していた。「自分から入りたい」と入って中からガンガン扉を叩いている人がいた。病棟中に音が響いていたが、「あれで気持ちを出している」と職員も他の患者も了解されていることに、日ごろの積み重ねを感じた。

【アロマセラピー】7病棟2階

職員によると「手にアロマを塗って話しながらリラックスできるよう工夫している」。患者も「楽しみ」とのことだった。病院は「オイルは病院の持出し。OTの点数等をつける認可してもらいたい」。

◆検討事項◆

廊下や外部から丸見えにならないように…

5-1: 患者から「カーテンが欲しい。着替え中に男の看護師が廊下を通るし、部屋に入るのが困る」「1部屋に6人もいて気をつかう」との声があった。

8-1: 隔離室は他の患者も通る廊下から中が見えた。入浴中の浴室入口のカーテンが開けっ放しで脱衣所が見えた。トイレ入口は上半分が隠れる程度の短いカーテンがあるが、片側で結んだままで中が見える。病室はカーテンはなく、廊下からも外からも見渡せる。病室のポータブルトイレの目隠しはない。スモークシートや紙等で問題を解消できる点もあるのではないだろうか。(病院:5-1病室のカーテンについては、以前からの懸案事項。建替え時に対応したい。また更衣等、特別気になる患者は浴室利用も可能と説明する。男性看護師が部屋に入る場合は、必ずノックはするよう指導している。気をつかうのは人それぞれその時の気の持ちよう変化すると思いますが、プライバシー保護を含め配慮した対応を心がけます。

8-1 保護室扉の窓に目隠しをします。浴室入口のカーテンは入浴中は常に閉めています。たまたまか、入浴が済んだので開いていたと思います。

トイレのカーテン:当初ドアだったが、危険防止と感染防止(ノブにさわる)の視点からドアを撤去しカーテンにした。しかし、カーテンも感染防止の視点で開けている。改修は難しいが、プライバシー保護を含め配慮した対応を心がけます。

病室のカーテン:南側病室(廊下側)にカーテンを設置しました。北側(外側)にも設置予定。

ポータブルトイレの「衝立」を置いた際、それにもたれて転倒することがあった。現在、事故防止とプライバシー保護の視点から極力トイレに誘導し、ポータブルを使用しないようにしています。)

【薬の渡し方についての説明や声かけを】

患者によると「服薬は詰所前に並ぶ」と受止めていた。薬は職員が持っていくという説明や「座って待っていて下さい」等の声かけが必要なのではないだろうか。(病院:服薬を待ちきれない患者が一部並ぶ状態です。来られていない患者には配薬している。「座ってお待ち下さい」等の声掛けしているが、人より先に服用したい、あるいは待てない患者がいるので、患者の状況によって対応している。看護師から強要するようなことはない。)

【患者の声を聞く姿勢を】

2-2 では、「話を聞いて欲しい。看護師に『後で』と言われて聞いてもらえない」との声があった。(病院:幻聴・妄想が活発な方、合併症の併発で点滴・排泄の管理の必要な方など介護の多い病棟で、余裕の無い時に「後で」という言葉が出てきていると思います。その場で対応が困難な時は「〇〇の後でとか〇時迄待ってください」等の対応を病棟勤務者全員に再確認します。)

【隔離室の和式トイレについて】 1-1

「洋式トイレがないので心がしんどい」との声があった。洋式に慣れているため、和式を使いにくい患者も増えてきているのではないだろうか。そのような患者はポータブルトイレを使用する等まだであれば検討をお願いしたい。(病院:旧保護室8床中1床が洋式ですが残り7床中3床を今年度中に洋式に変更予定。また、患者によって現在もポータブルを使用。新保護室3床は全て洋式。)

【療養空間としての配慮を】1-1

複数の患者から「看護師に大きな声で注意をされっぱなしのを聞くのがしんどい」との声があった。(病院:勤務者全員に配慮するように周知徹底を促しました。患者の中に執拗な訴えを繰り返す方等があり、看護師が注意しないと当該患者が他の患者の攻撃対象になることがある。意識的に他の患者に注意している態度を取らざるを得ない。)

【トイレ掃除は同性で】5病棟1階(女性病棟)

「トイレ掃除をする人が男性で中で一緒になるのは嫌。落ち着かない」との声があった。トイレ内は狭かった。(病院:特に女性病棟は女性が掃除をするよう清掃業務請負業者に指示をしていますが、女性が休暇等で不在時等やむなく男性が対応。トイレ内の狭さは建替え時には解消したい。)

【トイレトペーパーの設置を】

個室内にトイレトペーパーがない病棟があった。不便ではないだろうか。(病院:2-2では、数年前ペーパーを床に落とす・トイレにそのまま流しトイレを詰まらせる等が頻繁に起こり、患者からの苦情が殺到した為、患者と話し合いを持ちました。結果ペーパーはホールのトイレに一番近い場所に設置した。不便のない方法を今後も模索する。)

【トイレ掃除の徹底を】5病棟1階

患者から「トイレに虫がわく。水を流すだけの掃除だから掃き掃除や拭き掃除をして欲しい」との声があった。(病院:清掃業務請負業者にこの意見内容の事実確認をするとともに、業務の改善又は清掃の徹底を指示します。)

【PSW がもっと病棟に入り、地域のサービスを伝えて欲しい】

8-1 では「ソーシャルワーカーはあまり来ないので知らない」「食べる事やお金の管理が心配。退院したくない」「21 年間入院」との声があった。(病院:常勤 1 名及び非常勤 1 名で対応。毎日 1 回は、病棟を訪問し各病棟看護師からの依頼に早く対応している。それ以外の患者で直接ワーカーまで訴えられる方は、その都度対応している。)

【人権委員会や顧客満足委員会について】

委員会はどんな頻度で開催されていますか。また、意見箱に入った意見への返事を掲示すること等は検討されていますか。(病院:人権委員会は、研修会を兼ねて年 3 回、患者サービス推進委員会は、4 半期毎に 1 回開催。また、意見箱の内容を確認し改善すべき事項は改善していますが、返事の掲示等は実施していない。)

【市長同意入院の割合】

市長同意入院が多いとの説明でしたが何割ですか。(病院:平成 21 年 10 月 15 日現在 8.2%、児童思春期を除く割合は 9 %。入院患者総数 389 人うち市長同意 32 人(児童思春期を除く総数 356 人))

【地域生活への移行支援】

在院期間 40 年前後の入院患者にも地域の社会資源を体験利用する等の支援はありますか。(病院: 3-2 の全患者を対象に月 1 回茶話会を行っている。内容は病棟関係スタッフ・作業所・市役所・保健所・当事者等を招き、退院に向け患者が求める情報を話合いの場として提供している。)

【トイレの紙が流せない理由】

1 病棟のトイレでは、使用した紙をバケツに入れてあった。(病院:蓋付のバケツを生理用品・紙パンツ等の汚物入れにしている。中には使用済みのペーパーを流さずに入れる方もいる。汚物入れに溜まったものは速やかに処理します。)

H21 大阪府精神保健福祉関係資料より

(府立精神医療センター分)

386 名の入院者のうち統合失調症群が 292 名 (76%)、気分障害が 19 名 (5%)、精神作用物質による精神及び行動の障害が 14 名 (4%)。入院形態は任意入院 120 名 (31%)、医療保護入院 232 名 (60%) 措置入院 11 名 (3%)、その他 23 名 (6%)。在院期間は 1 年未満が 166 名 (43%)、1 年以上 5 年未満が 85 名 (22%)、5 年以上が 64 名 (17%)、10 年以上 20 年未満が 5 名 (12%) 20 年以上が 13 名 (6%)。

(H21. 6. 30 時点)